

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月14日(水) 13:30～15:30
- 3 開催場所 東濃高等学校 図書館
- 4 参加者

副会長 委員	佐口 清道 奥村 恒也 各務 眞弓 仲谷 ちぐさ 矢島 幹也 山田 泰平	会社役員 御嵩町教育長 可児市国際交流協会・フレビア事務局長 PTA副会長 一般社団法人 てらす 代表理事 東海化学工業(株) 業務部人事・総括課長
学 校 側	吉田 益穂 野田 潤哉 柴田 純孝 大坪 篤 服部 一也 佐合 ゆかり 前田 知美	校長 教頭 教頭 事務長 アドバンス部部長(教務主任) アドバンス部副部長(進路指導主事) 生徒指導主事

5 会議の概要(報告・協議事項)

(1) 地域探究類型「中間学習報告会」の参観(於: ガイダンス室)

※御嵩町職員、御嵩町教育委員も参観

(2) 地域探究類型「中間学習報告会」について

意見1: しっかり発表ができていた。子どもたちが地域に出て御嵩町を好きになって、色々な人と関わって心のつながりに発展していく活動は価値がある。子どもたちが自分で見通しを持って学習していけるとよい。

意見2: 地域の人と触れ合い、歴史・文化にも触れる活動がバランスよく発表に取り入れられていた。発表はもう少し元気があるとよい。発表は今後のよい経験になる。

意見3: 発表の資料にもっと生徒自身の個性が出るとよい。

意見4: 発表の中で、生徒の感想が自分たちの言葉で聞けるとよかった。

意見 5 : とてもよかった。地域の可児川も発表に入れてもよいと思う。

(3) 令和 5 年度自己評価・学校関係者評価について (協議)

意見 1 : 遅刻した場合の手続きが煩雑で欠席につながっている場合もある。手続きをなくすることはできないか。

⇒ 生徒の所在を確認する上で、登校時の「遅刻届」は必要である。簡略化については検討していきたい。

意見 2 : 高校進学に向けて県教育委員会が主催する「外国人向けの進路ガイダンス」では、東濃高校の生徒が参加して、具体的な高校生活について話してくれていて、大変助かっている。また小中学生向けの補習教室でも、3 人がボランティアで勉強のサポートをしてくれている。

意見 3 : 外国につながる生徒が、今年度小中学校の英語の授業に関わってくれたことは本当に素敵だと思った。他方、地域探究類型の日本人の生徒たちが、まちづくりに一緒に関わってアイデアを出していくなど、自己有用感や自己肯定感の高揚につながるとよい。

意見 4 : 「可児市環境フェスタ」が 2 月に予定されている。展示やボランティア活動で参加することで、地域とのつながりを持ち、様々な発信の場にしてほしい。

⇒ 2/25(日)開催の「御嵩町環境フェア」では本校生徒が、1 年次生のキャリア教育プログラムと 2 年次生のビジネス類型の取組を発表する予定である。

6 会議のまとめ

今回の学校運営協議会では、令和 5 年度の学校評価に関して委員から様々な意見や質問をいただいた。学習指導では、今年度から導入したスタディサプリを有効に活用していることを評価され、さらに自主学習が進むよう指導していきたい。進路指導では、国立大学への合格者が出たことが評価されたが、帰国や非正規雇用を希望する進路未決定者がいる実情をふまえ、生徒が主体性をもって進路決定ができるよう、より早期の進路情報提供やキャリア形成を促すよう指導にあたりたい。また、生徒指導面では、挨拶する生徒が増え、元気で明るい学校になっているが評価された。引き続き、生徒にとって「学校が楽しい」と思える学校づくりに努めたい。

協議を踏まえ、今年度の学校評価（自己評価）に対する了承が得られた。